

医師会の魅力



夢の夢 ～医学は科学、医療は制度～



A black and white portrait of Dr. Takanobu Hasegawa, a middle-aged man with short dark hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt and tie. He is smiling slightly and looking towards the camera. The background is a plain, light color.

- ・会には多くのメリットがあります。例えば……
- ・日医医師賠償責任保険・民間の保険とは異なり、万が一の際に自ら弁護士を探す必要がありません。
- ・医師国保・常勤勤務医でない場合、一般的な国民健康保険よりも安価に利用できます。
- ・日医年金・堅実かつ安定した最も優良な年金制度です。
- ・このほかにも生涯教育など、さまざまな利点がありますが、

現在の医師会には、残念ながらかつてのような強い影響力はありません。本来であれば、診療報酬改定の基本方針は、日本医師会の角田副会長、城守常任理事、長島常任理事が委員として参加する社会保障審議会の意見が政策に反映される仕組みでした。個別の診療報酬の算定項目についても、日本医師会の重松副会長、江澤常任理事、黒瀬常任理事が加わる中央社会保険医療協議会で、議論されていました。

前に首相官邸で決められており、日本医師会の意見は軽視されつつあります。

日本全国の病院の7割以上、立病院の9割以上が赤字経営に陥っている中で、日本医師会の要望が「医師全体の意見」としてどれほど重く見られるか、医師会の組織率、特に勤務の加入率に大きくかかっています。いいか悪いかではなく、重要な医療政策は政治で決まる。これが現実です。だからこそ

くことが私の夢です！
さらに言えば、医師会が尽して勝ち取った診療報酬の改定の恩恵を、非会員の医師も当然のように享受しています。これはある意味、制度の“ただ乗り”といえるかもしれません。たしかに弁護士は日本弁護士連合会への所属が義務づけられています。そこまでは無理にしても医師である以上、原則としてべつに医師会に参加する医師会になる、これが私の夢の夢！！です。

この時期は、国の行政との連携が発生し、症例接種など医論が進行するが多かつた。論議が進行する域医療調整会議のは荷の重い会が大きな役割を果たした。この時期をしつかり

やりとりなどに触れた。
新型コロナ感染
感染対策やワクチ
師会がからむ業務
地域医療再編の議
時期でもあり、地
議の議長を務める
ことだった。医師
割を果たす時期に
めたのは大変な経
の先しばらくの任
務めたいと思う。

勤効医ニユース (にいがた)

発行所
新潟県医師会
新潟市中央区医学町通 2-13
TEL 025(223)6381

は医療保険制度があつて、多くの医師は保険制度の下で医療を行っています。自分が正しく、患者さんのためといつて、保険制度で認められていない医療はいくらやつてもその対価は保険では支払われません。また新しく開発された治療法や手術は直ちには保険に収載されることはありません。

属し、みんなで声を上げれば国にも届くはずです。医師の代表の声として医師会が重要なのです。日本医師会は医師の半数以上が加入しており、日本の医師会の代表といえるでしょう。日本医師会が医師の代表であるとの認識があり、様々な保険診療にかかる会議の委員に医師会の理事たちを参加させていま

A black and white portrait of a middle-aged man with short, light-colored hair. He is wearing a dark suit jacket over a white shirt and a dark, patterned tie. The portrait is set against a plain, light-colored background.

上越医師会長
高橋慶

地域社会への窓口 としての医師会

医師会理事を努めて数年たつところ、副会長就任の打診を受けた。そのときは、地域医療担当にやりがいを感じて断つたが次の改選期に副会長に就任した。副会長になつて会議出席の負担は減つたが、医師会業務のすべてが担当とも言え、心理的な負担は増えた。数年後、会長に就任し、出席する会議が飛躍的に増えた。診療時間にかかる昼間の会議も多かつたが、自院が予約制のため、予定がわかつていれば日程をあけることができ、会議をあまり欠席せずに済んだ。医師会長は県医師会の代議員でもあり、年に何回か県医師会館に行くようになつた。郡市医師会議、郡市医師会長県福祉保健部意見交換会など、他にも県医師会館での会議があり、県医師会の活動を垣間見ることが出来た。医師会長2期目からは日本医師会代議員も務めるようになり、月2回の県医師会理事会に出席するようになつた。県医師会の活動の幅広さ、県の行政とのやりとり、関係する会議の多さは驚くほどだつた。上越から新潟市まで通うのは大変だが、お願いしたところリモート会議システムでの出席を可能にしていただけ、ほぼ皆勤で出席している。さらに年2回の日本医師会代議員会に出席し、日本医師会の多彩な活動、国行政とのやりとりなどに触れることが出来た。

